

平成29年度事業報告

乗合バス事業の収支状況は、大都市部を除きほぼ横ばいであるが、輸送需要は低迷状況であり、岡山県を含む山陽ブロックでは、約 8 割の事業者は赤字が続いている。

こうしたなか岡山県バス協会では、地方自治体や行政の協力や支援を受け、バス利用促進を最重要課題としてとらえ、バスターミナルやバス停の整備、バス利用者への案内サービスの向上、渋滞対策等利便性の向上を図るよう努めた。

貸切バス事業は、新運賃制度の適用等により実働日車当たり収入は安定しているものの、輸送需要の低迷から実働率の減少がみられ、収支率が減少となった。こうした状況から、運賃の適正収受を継続できるよう尽力し、事業の安定化を図るよう努めた。

また、軽井沢スキーバス事故を受けて、国から示された「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」85項目全てが着手され、積極的にその実効に努め、安全・安心なバス事業の信頼回復に努めた。

バス事業の事故防止対策として、車内事故防止、健康起因事故防止を主体とした安全対策を推進し、社会的な要請である環境対策等を積極的に取り組んだ。

イベント関係では、第3回目となる「おかやまマラソン」について、交通規制によるバス運行対策、マラソンランナー、関係役員等輸送対策に積極的に協力を行い、愛媛国体では、愛媛県からの輸送応援依頼を受け、貸切委員会主導で会員一丸となり協力を行い、輸送需要の拡大に努めた。

当協会はこうした状況の下、平成29年度事業計画に基づき、安全と安定したバス事業が地域公共交通の重要な役割を果たし、地域の方々の期待に応えられるよう連携して利用者の理解を深めるよう次のよう取り組んだ。

1. 年度会員数・その他(H. 30年4月1日現在)

①会員数

普通会員 87 (期間中増減 減1)

②車両数

一般乗合 712両 (期間中 8両減)

一般貸切 816両 (期間中 1両増)

2. 主な会議

①通常会員総会 1回

②理事会(役員会) 4回

③監事会 1回

④財務委員会 1回

⑤貸切委員会 3回

⑥事故防止対策委員会 3回

⑦補助金運用委員会 1回

⑧岡山市中心市街地の公共交通検討委員会 1回

⑨バスの日検討部会 1回

⑩岡山駅西口バスターミナル運用協議会 1回

⑪岡山駅西口バスセンター運営委員会 2回

⑫ICカードソフト更新・精算更新検討会 3回

1の1 第42回通常会員総会

平成29年6月21日(水) 岡山プラザホテル

【議題】

(1) 平成28年度事業報告、平成28年度会計報告諸表の承認

(2) 理事及び監事の選任並びに会長候補者の推薦について

(3) 定款第9条(除名)の変更について

(4) 会費徴収規程の変更について

(5) その他

・平成29年度事業計画案及び平成29年度収支予算について(報告)

2の1 第1回理事会(役員会)

平成29年5月23日(火) 岡山プラザホテル

【議題】

(1) 総会に付議する議案について

(2) 次期の会長、副会長、専務理事の選任及び理事会の開催について

(3) 職員の採用、再雇用及び昇給等について

(4) その他

2の2 第2回理事会(役員会)

平成29年6月21日(水)岡山プラザホテル

【議題】

- (1) 会長理事、副会長理事、専務理事の選任
- (2) 日本バス協会各委員会の委員の推薦
- (3) その他

2の3 第3回理事会(役員会)

平成29年11月7日(火)岡山プラザホテル

【議題】

- (1) 平成29年度上半期(4月~9月)事業報告
- (2) 平成29年度下半期(10月~3月)予定事業報告
- (3) 貸切バス輸送解約時の要望について
- (4) その他報告事項等
 - ・不適正経理の件
 - ・バス交通懇話会の件
 - ・自由民主党岡山県支部陳情の件
 - ・会費徴収での車両数の算定期日の件

2の4 第4回理事会(役員会)

平成30年3月26日(月)岡山プラザホテル

【議題】

- (1) 平成30年度事業計画(案)の承認について
- (2) 平成30年度収支予算(案)の承認について
- (3) 平成30年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- (4) 岡山県バス協会諸規程の整備について
- (5) 不適切経理の報告について
- (6) 原子力災害時におけるバスによる緊急輸送等の要請要領(案)について
- (7) 交通懇話会について
- (7) 定款第9条(除名)の変更について
- (8) その他

3の1 監事会(監事監査)

平成29年5月16日(火)岡山県バス協会 会議室

【監査内容】

- ・職務執行状況

- ・平成 28 度事業報告
- ・平成 28 年度収支決算（計算書類及びその附属明細書等）について

4 の 1 財務委員会

第 1 回 平成 29 年 6 月 9 日（金）岡山県バス協会会議室

- ・乗合バス要素別原価報告書集計

5 の 1 貸切委員会

第 1 回 平成 29 年 4 月 4 日（火）両備バス会議室

- ・平成 29 年度事業計画について
- ・愛媛国体のバス輸送体制について
- ・おかやまマラソンバス輸送体制について
- ・バス輸送契約の違約料について
- ・「日本バス協会 中小貸切事業者」専門部会報告

5 の 2 貸切委員会

第 2 回 平成 29 年 9 月 1 日（金）下電観光バス会議室

- ・雨とけの場合等の違約料について
- ・愛媛国体輸送応援体制について

5 の 3 貸切委員会

第 3 回 平成 30 年 1 月 11 日（木）松山市

- ・「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」
の実施状況について
- ・愛媛国体の応援体制について（報告）
- ・雨とけの要望書について（報告）
- ・貸切委員長の選任について

6 の 1 事故防止対策委員会

第 1 回 平成 29 年 9 月 4 日（月）岡山県バス協会会議室

- ・平成 29 年秋の交通安全運動の実施について
- ・平成 29 年秋の交通安全県民運動の実施について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・「前照灯の終日点灯」の実施について
- ・事故報告について
- ・乗合バス添乗調査について
- ・貸切バス適正化コンサルについて

6 の 2 事故防止対策委員会

第 2 回 平成 29 年 11 月 27 日（月）岡山県バス協会会議室

- ・平成 29 年度年末・年始輸送等に関する安全総点検について

- ・年末・年始の交通事故防止県民運動について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・事故報告について
- ・「前照灯の終日点灯」について
- ・年末・年始安全総点検ポスター（案）について
- ・乗合バスの添乗調査について
- ・視覚障害者のバス利用について（要請書）

6の3 事故防止対策委員会

第3回 平成30年3月19日（月）岡山県バス協会会議室

- ・平成30年春の全国交通安全運動の実施について
- ・平成30年春の交通安全県民運動の実施について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・「前照灯の終日点灯」の実施について
- ・事故報告について
- ・車内事故防止バス添乗調査の実施について
- ・貸切バス事業適正化事業について
- ・「交差点右左折時一旦停止」のステッカーについて
- ・ドライブレコーダー映像を用いたKYTトレーニングについて
（説明会の開催）
- ・運転者の実技指導について、トラック協会中尾教習所の使用について
- ・平成30年度の安全運転研修について
- ・運転者募合同説明会について

7の1 補助金運用委員会

第1回 平成29年7月27日 岡山県バス協会会議室

- ・平成29年度運輸事業振興助成補助金の運用について

8の1 岡山市中心市街地の公共交通検討委員会

第1回 平成29年12月20日（水）岡山県バス協会会議室

- ・岡山市が進めるバス路線網の見える化について
- ・「岡山市総合交通計画」について
- ・岡山駅東口バスターミナルの管理分担について
- ・オリ・パラプレートの利用要請（整備振興会から）

9の1 バスの日検討部会

第1回 平成29年7月12日（水）岡山県バス協会会議室

- ・バスの日の記念事業について
善行者表彰

サービス向上運動
優良乗務員表彰
子ども運賃無料バス運行

10の1 岡山駅西口バスターミナル運用協議会

第1回 平成30年1月18日

- ・西口バスターミナルの運用状況について
- ・10周年記念行事について

11の1 岡山駅西口バスセンター運営委員会

第1回 平成29年5月17日

- ・平成28年度決算報告
- ・岡電バスの管理費について
- ・おかやまマラソン当日の臨時待機場の確保について

第2回 平成30年1月18日

- ・防犯カメラの交換について

12 ハレカ更新及び精算業務更新検討会議

第1回 平成29年4月 7日（金）開催

第2回 平成29年5月 9日（火）開催

第3回 平成29年5月17日（水）開催

3. 業務の概要

(1) バス輸送改善事業

バス輸送の改善を図るため、岡山駅東口・西口バスターミナルの整備や県内各所バス停の整備を行い、低床スロープバスの導入の促進を図るなど輸送環境の改善及び輸送サービス等の改善のため主に以下の事業を実施した。

- ア. 岡山駅東口バス停について、方面別化を維持すべく、新たに新設路線の「後楽園直行バス」の案内表示を行った。
- イ. 岡山駅東口バスターミナルのバス停上屋の補修及び案内所のカウンター修繕、雨漏りなど補修し改善に努めた。
- ウ. 岡山駅西口バスターミナルを発着する、高速バス、空港リムジンバス、岡山市北西方面路線バス及び貸切観光バスの乗降について、安全対策及び利用者サービスの向上を図るため、バス停及び待合所の適切な管理・運営を行った。
- エ. 岡山市におけるバス利用の利便性向上と利用促進を図るため、岡山市、岡山商工会議所及び市内乗合バス事業者と協働して「バス利用促進検討会」での行動計画に基づき次のような事業を実施した。

- ・公共交通のあり方を学んでいただき、利用者の意見を聞くため「おかやま交通探検隊」へ参画した。(岡山商工会議所、岡山市と協賛)
- ・デジタルサイネージの管理運営「通称『えきバス時刻表』」(岡山駅東西通路の新幹線改札口及び在来線中央改札口と駅東口バス案内所側面に岡山市が設置)に、本年度から新たにバスロケーションシステムでの運行状況を表示し利用者の利便性を向上させた。

オ. バス停整備等

- ・岡山駅東口バスターミナル案内板整備 1件 (交付金事業)
- ・岡山駅東口バス停上屋工事 3カ所 (交付金事業)
- ・岡山駅東口案内所カウンター修繕 2カ所 (交付金事業)
- ・岡山駅東口案内所雨樋補修工事 2カ所 (交付金事業)
- ・県内バス停上屋新設・修繕 2カ所 (交付金事業)
- ・県内バス停標柱整備 50カ所 (交付金事業)

(2) 安全輸送体制の確保

国の定めた「事業用自動車総合安全プラン2009」及び10月から更新された「事業用自動車総合安全プラン2020」に基づき主に次の事業を実施した。

ア. 春、秋の交通安全運動及び年末年始の輸送に関する安全総点検において、事故防止対策委員会を中心に、安全運行、事故防止対策等を中国運輸局岡山運輸支局、岡山県警察本部の指導と協力を得て、会員に周知・徹底するとともに、交通安全活動に参画し広く交通安全を働きかけた。

- ・交通安全のポスターの配付 860枚 (交付金事業)
- ・交通安全ポケットティッシュの配付 7,700個 (交付金事業)

イ. バス事故の3割を占める車内事故防止のための「車内事故防止キャンペーン」を7月に実施し、利用者への「ゆとり乗降」の啓発や運転者に対する「ゆとり運転」を呼びかけ、ポスター、チラシ等により啓発活動を行った。

- ・チラシ配布依頼：岡山県トラック協会、岡山県タクシー協会、JAF岡山支部
- ・車内事故防止床面滑り止めステッカー 130枚 (交付金事業)
- ・シートベルト着用啓発シート 10,000枚 (交付金事業)
- ・貸切バス利用者に、シートベルト着用啓蒙の紙コップを配付し、着用を促した。 40万個 (交付金事業)

ウ. 運行管理者、運転者研修事業

運行管理業務の適切な実施、運転者の事故防止等を図るための各種研修や安全運転に関する周知等に次のような助成を行い事故防止に努めた。

- ・運輸安全マネジメント研修 78名 (交付金事業)
- ・運行管理者一般講習 321名 (交付金事業)
- ・運行管理者基礎講習 116名 (交付金事業)
- ・運行管理者資格試験事前講習 2回 (交付金事業)
- ・バスドライバー研修 33名 (交付金事業)
- ・運転者適性診断 741名 (交付金事業)

エ. 安全教育、車内、車外事故防止の対策として、EMS・ドライブレコーダーの導入促進、健康起因事故防止のため SAS 簡易検査の助成を行った。

- ・EMS・ドライブレコーダー導入助成 24両 (交付金事業)
- ・SAS簡易検査助成 97名 (交付金事業)

オ. その他安全対策を図るための教材配布等

- ・安全運転手帳 (2018年安全運転のしおり) 2,600冊 (交付金事業)
- ・運転記録証明交付 1,350名 (交付金事業)
- ・安全対策のマニュアル集 130冊 (交付金事業)
- ・整備管理者選任後研修資料 90冊 (交付金事業)
- ・ドラレコを使ったヒヤリハット指導DVD 120冊 (交付金事業)

カ. 交通安全意識 (飲酒運転撲滅、シートベルトの着用等) の高揚を図るべく、県下バス事業者で引き続きラッピングバスの運行を行い、啓蒙に努めた。

キ. 路線バスの運転添乗調査

路線バスの運行状況を添乗により調査し、安全性の向上、車内事故防止対策の強化及びサービス体制の促進を図るため、次の添乗調査を行い、運転者指導を行った。

ク. 乗合バス添乗調査 9事業者 84回

ケ. 「貸切バス適正化事業」(コンサル)により貸切バス業界全体のコンプライアンスの向上と、適正な安全対策業務の巡回指導を実施。(13事業者)

コ. 日本バス協会において、貸切バス事業の安全性に対する取り組み状況について評価・認定し、利用者や旅行業者などに情報提供を行う「貸切バス事業者安全性評価認定制度」について、次の取り組みを行った。

- ・申請事業者の訪問審査・・・18事業者実施
- ・貸切バス事業者安全性評価認定制度説明会開催 (出席者54名)

(3) 環境対策の推進

ア. 環境対応車両の導入の促進を図るとともに、アイドリングストップやエコドライブの推進を図った。

- ・EMS・ドライブレコーダー導入助成 24両 (再掲)

イ. 安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となる不正改造車を排除するため、強化月間(6月中)において、排除のための啓発、情報収集、従業員に対する指導自主点検の実施を行い、積極的に排除に努めた。

ウ. 「バスの日記念事業」において、アイドリングストップ運動の推進を図るなどアイドリングストップを推進した。

エ. 貸切バス利用者にゴミ袋を配付し、環境対策の啓蒙と環境整備に努めた。

ゴミ袋 92万枚(交付金事業)

(4) バス活性化事業の推進

ア. 9月20日「バスの日」を中心にサービス向上運動を展開、バスの日の子供運賃無料を実施するとともに、優良乗務員・善行者表彰を行うなど、安全で安心なバス、人と環境にやさしいバス、便利で快適なバスとして認識してもらうよう努めた。

イ. 子どもに身近なバスの役割や良さを知ってもらうため「こどもの日」に子ども運賃を無料として利用してもらった。(県内10乗合バス事業者)

ウ. 「岡山県公共交通教室連携会議」が実施するバリアフリー教室やバスの乗り方教室などの開催について、協賛し、公共交通を利用しやすい環境づくりに推進した。

エ. 「岡山県道路交通渋滞対策会議」「岡山県道路利用者会議」「岡山市通信市街地渋滞対策会議」などの会議を通じて、国、岡山県、警察本部、岡山市などに渋滞箇所の緩和対策を積極的に取り組んでもらうよう要請を行った。

オ. 「岡山市総合交通計画調査検討会」「路面電車岡山駅前広場乗り入れ計画案調査検討会」などを通じ、岡山市の交通体系のあり方について、バス事業を円滑に推進するため意見を述べ、検討し、公共交通を活かした都市づくりへの構築に協力した。

カ. 「倉敷市地域公共交通会議」において公共交通網形成計画の策定にあたり、バス事業の振興のため参画し、意見・要望等提案した。

キ. 津山市が主催する「公共交通利用の日」において、イベントの協力をを行い、バス利用の促進に努めた。

ク. ハレカカードシステム(ICカード)について、新規格の端末機に対応できるようにソフトの更新を行った。(旧ソフト平成17年作成)

ケ. 利用促進グッズ

バス利用促進として、バスの日などのイベント行事の際に、グッズを配付

・オリジナルキャンパスノート 10,000冊(交付金事業)

(5) 運輸事業振興助成交付金の適切な運用等

ア. 役員会、補助金運用委員会で協議し岡山県の認可を得て次の事業を実施した。

事業の名称	事業金額
バス停留所整備事業	6,533,070円
輸送サービス改善事業	5,960,980円
安全運行対策事業	11,824,293円
維持運行管理事業	922,657円
合計	25,241,000円

イ. 日本バス協会の助成制度を次のとおり活用した。

事業内容	数量	金額	備考
人と環境にやさしいバス普及事業	6両	600,000円	低床スロープ
〃	18両	1,800,000円	衝突被害軽減ブレーキ装備車
貸切バス助成事業	8両	400,000円	車両購入
大型二種免許取得養成助成事業	4名	148,000円	二種免許取得
利子補給事業	2社	587,134円	利子補給額
合計		3,535,134円	

(6) 各種イベントへの参画等バス利用促進

ア. 「おかやまマラソン2017」において、ランナー輸送、役員輸送、岡山駅と会場のシャトルバス等円滑な輸送に協力。(43台)

イ. 「笑顔つながえひめ国体・笑顔つながえひめ大会」について、大会実行委員長からの要請により、大会期間中の円滑な輸送の応援を行った。(432台)

(7) 陳情・要望等について

バス輸送の振興、安全性の確保、環境対策、バリアフリー対策、渋滞対策等を円滑に遂行するため、バス関係諸制度の見直しや予算及び税制などに関し関係機関に次のような要望を行った。

ア. 「陳情書」

平成29年11月2日、自由民主党岡山県支部連合会 岡山県議団あて
平成30年度岡山県予算編成に関する個別懇談会において、次の事項を重点的

に要望した。

- ・地域公共交通の維持、改善の取組み及び平成 29 年度バス関係予算の確保について
- ・「地域振興特定路線維持対策費」の拡充
- ・「運輸事業振興助成交付金制度」の継続及び拡充
- ・環境対応バス導入加速事業補助金の継続及び拡充
- ・貸切バスの輸送に関する予算の拡充について
- ・バス関係税制
バリアフリー車両及び ASV 車両の重量税軽減措置の延長
自動車関係諸税の大幅な負担軽減

イ. 「予算・政策要望書」

平成 28 年 9 月 11 日、公明党岡山県本部 代表あて

公明党岡山県本部との政策・要望懇談会において、次の事項を重点的に要望した。

- ・地域公共交通の維持、改善の取組み及び平成 29 年度バス関係予算の確保について
- ・「地域振興特定路線維持対策費」の拡充
- ・「運輸事業振興助成交付金制度」の継続及び拡充
- ・環境対応バス導入加速事業補助金の継続及び拡充
- ・貸切バスの輸送に関する予算の拡充について
- ・バス関係税制
バリアフリー車両及び ASV 車両の重量税軽減措置の延長
自動車関係諸税の大幅な負担軽減

ウ. 貸切バス運賃・料金について（違約の場合のお願い）

平成 29 年 12 月 21 日、岡山県内教育委員会（28 委員会）

岡山県内幼稚園、小・中・高校長（753 校長）宛て
貸切バス輸送契約において、変更・中止等が生じた場合の対応

（8）バス協会事務局の職務執行体制の整備

岡山県公益認定等委員会からの立入検査での次の指摘事項について、再発防止対策を整えた。

【指摘事項】

- ① 不適切な経理処理事務が行われていた。
 - ・実際には支払いを行っていない取引について、帳簿上支払完了の処理を行っているものがあった。

- ・期末時点で未払金はあるはずはないという誤った理解から、財務諸表の現金預金の額について、未払金がないものとして実際とは異なる額を記載していた。
 - ・預り金等の仕訳処理を行っておらず、いわゆる「簿外処理」となっていた。
 - ・領収書等の証拠書類の額と異なる額の仕訳処理があった。
 - ・固定資産台帳への記載が漏れていた資産があった。
- ② 収益・費用の証拠書類について保存されていないものがあった。今後はすべての証拠書類を確実に保存すること。
 - ③ 収益・費用の承認区分、出納・経理事務に係る事務分掌についての早急に整備する等、不適切な経理事務処理が二度と行われぬよう経理規程を見直し、必要な改正を行うこと。また、経理事務のチェック体制を強化し、当該規定に基づいた適正な処理を行うこと。
 - ④ 公印管理規程を遵守すること。また、通帳及び印鑑の管理については、別々の職員が行うこと。

【改善事項】

- ① について、平成 25 年度からの仕訳処理は、公認会計士の調査により精査し、処理誤りが明らかになったものは、平成 29 年度末の貸借対照表で修正を行った。
- ② ③④について、諸規程（財産管理規程、経理規程、文書保存規程、理事の職務権限規程）の制定・改正し整備するとともに、よりガバナンスを強化し、再発の防止を図った。

本件の発生の原因は、十分な規定を設けず、30 数年の長期にわたり、一人の経理担当者が誤った認識のもと、出納業務や経理業務を行っており、出納取引が会計処理に適切に反映されていなかったことが把握できなかったものと考えられる。また、職務権限が不明確であったため、出納業務が一任されていたことも大きな要因であった。

従って、再発防止対策として、諸規定を整備するとともに当該業務の職務分掌を分離し、増員により職務の執行体制を整えた。また、適切な業務処理を確実に遂行するため、外部専門家（公認会計士）の指導・確認を受けることとした。

(9) その他

- ア. 乗合バス車内ポスター掲示、営業所へのポスター掲示・チラシ配付等による行政からの、啓蒙・広報等の協力

- ・岡山市長選挙啓発
- ・「いじめ防止啓発」
- ・不正軽油対策ポスター
- ・予防救急ポスター
- ・おかやまマラソン 2017
- ・あいサポート運動
- ・おかやま桃太郎まつり
- ・年金広報
- ・岡山確定申告会場
- ・クールチョイス
- ・踏切事故防止キャンペーン
- ・愛の献血助け合い運動
- ・ヒアリ（火蟻）に注意
- イ. バス関係法令・通達等の周知
- ウ. 各種会議・イベントへの参加
- エ. 統計資料等の作製配布
- オ. 日本バス協会、中国バス協会事業の推進及び協力

※事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。